

小学校高学年～中学校音楽鑑賞会用 「体験！小さなオペラ劇場」

モーツァルトのオペラ“バスティアンとバスティエンヌ”を楽しもう！

●企画概要

ヨーロッパでの演奏経験を積んだ音楽家によるオペラ公演です。天才モーツァルトが12歳の時に作曲したオペラ“バスティアンとバスティエンヌ”を上演します。“バスティアンとバスティエンヌ”は日本ではまだ上演機会の少ない作品ですが、ヨーロッパではザルツブルク音楽祭、ウィーン国立歌劇場の子どもオペラをはじめ各地で繰り返し上演され続けており、特に若い方々のオペラ鑑賞に適した作品です。その作品をオリジナル台本と、シンプルモダンな演出によってした親しみやすく上演します。

●対象 小学校高学年の児童～中学生 及びその保護者の皆様（PTA）

●企画の狙い

- ・オペラの世界とその魅力に親んでもらい、音楽芸術を身近なものに感じてもらうこと
- ・オペラ鑑賞という経験を日常に取り入れ、児童の文化的生活をより豊かなものにする

●企画内容

- ・モーツァルト作曲のオペラ“バスティアンとバスティエンヌ”の上演（オリジナル台本、ピアノ伴奏）
- ・原語（ドイツ語）上演日本語字幕付き / 日本語訳上演 どちらかを選択



出演者 バスティエンヌ：峯島望美 バスティアン：駒井ゆり子 コラ：河村洋平 ピアノ：松永充代

スケジュール 時期：ご相談に応じます / 上演時間：60分

備考

- ・事前に鑑賞する会場でのリハーサルをさせていただきます
- ・ピアノ、椅子、照明（可能であれば）を使用します
- ・原語上演日本語字幕付きの場合プロジェクターとスクリーンが必要となります
- ・舞台用パネルをこちらで持ち込ませていただきます

依頼公演実績

多摩市立複合文化施設 パルテノン多摩 公益財団法人 多摩市文化振興財団主催（東京・多摩市）
東京都北区立中学校音楽鑑賞会 東京都北区文化振興財団主催（東京・北区） 他

（お問合せ・お申込先）

クラシック音楽グループ「ピアノト」 メール：pianoto.mitsuyoto@gmail.com

出演者プロフィール



峯島望美 : ソプラノ

愛知県出身。東京音楽大学声楽演奏家コース首席卒業。同大学院修了。読売新人演奏会、日本演奏連盟新人演奏会、NHK FMリサイタル、サントリーホールデビューコンサート等に出演。ウィーン国立音楽大学にて世界的名歌手E. マティス氏に師事しリート・オラトリオ科、同オペラ科修了。オーディションに合格し、D. フィッシャー・ディースカウ、G. ヤノヴィッツ、故H. ホッター、B. ファスベンダー、E. アーメリング等、著名な音楽家のもと歌曲、オペラの研鑽を積む。

2005、6年度ロームミュージックファンデーション奨学生。全日本学生音楽コンクール第2位、藤沢オペラコンクール入選、日伊声楽コンクール入選、国際ブラームスコンクール第3位（オーストリア）、国際ベルヴェデーレコンクール特別賞受賞（オーストリア）、デビューインメランコンクール入選（イタリア）、G. ディ・ステファノコンクール入選（イタリア）等、数々のコンクールにて入選入賞を果たす。歌唱力、演技力ともに高く評価され、オペラでは「フィガロの結婚」スザンナ役、「ドン・パスクァーレ」ノリーナ役、「電話」ルーシー役、「スザンナの秘密」スザンナ役、「賢い女」賢い女役等で、横須賀芸術劇場、レーゲンスブルク州立歌劇場等の国内外の劇場やホールに多数出演。特に機知機転の効く若い娘役を得意とし、アジア人ながらオペラのステージを支える重要なポジションを築いている。名古屋・仙台・中部フィル、ニーダーオーストリアトーンキュンストラオーケストラ等、オーケストラとも多数共演。国際ショパンミュージックフェスティバル等の音楽祭、コンサートのソリストとしても活躍中。

“誰もが楽しめるクラシック音楽”をモットーに結成された音楽グループ「アイゲンアート・ミュージック」（オフィシャルHP: eigenartmusic.com）代表。子どもから大人まで楽しめる「おうたの森コンサートシリーズ」、ウィーンの音楽やドイツ歌曲をお芝居仕立てで演奏する「お芝居コンサートシリーズ」など、新しい形のクラシックコンサートを日本各地で上演し好評を博している。CD「おうたの森 Vol.2」、「おうたの森～おやすみなさいのそのまえに～」、「Ruhe～ルーエ～うたのあるやさしい時間」をリリース。日本演奏連盟、日本カール・レーヴェ協会会員。



駒井ゆり子 : ソプラノ

埼玉県出身。東京音楽大学オペラコース卒業、同大学院修了。在学中、奨学生としてオーストリア・ザルツブルグに短期留学。ディプロムを取得。二期会オペラ研修所修了。修了時に優秀賞、奨励賞を受賞。2004年渡仏。パリにてディプロム“コンサーティスト”を声楽と室内楽の両部門で審査員満場一致、審査員の称賛付きで取得。パリ・エコール・ノルマル音楽院を首席で修了。

国内では全日本学生音楽コンクール第2位、日本モーツァルトコンクール第2位、長久手オペラ声楽コンクール第2位、東京文化会館東京音楽コンクール第2位、海外では、国際ベルヴェデーレオペラコンクール、イタリア国際オペラコンクール、フランス国際声楽コンクール等、数々のコンクールで上位入賞を果たし、2005年トゥールーズ国際フランス歌曲コンクールでは最優秀賞を受賞。

マーラー『復活』、ベートーヴェン『交響曲第9番合唱付き』、宗教曲等のソリストとして東京交響楽団、東京都交響楽団、日本フィルハーモニー、群馬交響楽団と数多く共演する他、サントリーホールや東京文化会館、パルテノン多摩主催のオペラ、オペレッタにも『ドン・ジョヴァンニ』（ドンナ・アンナ）、『魔弾の射手』（アガーテ）、『メリー・ウィドー』（ハンナ・グラヴァリ）、『カルメン』（フラスキータ、ミカエラ）、『ヘンゼルとグレーテル』（ヘンゼル）、『子供と魔法』（子供）、『バ스티アンとバスティエンヌ』（バスティアン）等出演している。

2009年、帰国記念リサイタルを東京文化会館の共催で開催し、新しいリサイタルの形を提言し大盛況のうちに終える。その成功は「音楽現代」誌で絶賛を博す。的確なテクニックと類まれなる音楽性を持ち、言葉に対する鋭い感性と深い作品分析に裏打ちされたその演奏においては定評がある。リサイタル、コンサートの分野では、その企画と構成力でエンターテイメント性の大きい舞台を提供し、紙面でも絶賛されている。CD『昔日の陽だまり』、『クルト・パイユ』、『アルモニー』、『更け行く秋の夜』をリリース。また、パリでの留学経験を日記形式で綴った『パリ 音楽留学ノート』を出版。

これまでにフランス歌曲を芹沢文子、滝沢三重子、E. セリグ、ベル・カントを東敦子、ドイツリート・オラトリオを野村陽子、E. マティス、U. ハイルマン、中村智子、室内楽をL. リヴィエール、C. ド・ビュッシ、オペラ演習をJ. P. ラフォン、G. バンブリー、オペラコーチをM. ボエーミ、U. リュッティマンの各氏に師事。2008年度文化庁海外派遣研修員（パリ）。サントリーホールオペラアカデミーメンバー。ヴォーカルアンサンブル“クルト・パイユ”メンバー。二期会会員。桐朋学園大学講師。

オフィシャルホームページ <http://komaiyuriko.com>